

2017年12月号・特集へのご意見

「チーム学校」の重要性

事例校の取り組みなどを通して「主体的・対話的で深い」思考が必要なのは教師自身であり、その場と時間を確保するマネジメントが必要だと感じた。そのためには、管理職のトップダウンによるリーダーシップと、最前線で授業や生徒指導にあたる教員のボトムアップのバランスが重要で、基盤となる教師間の信頼関係を築き、その資質・能力を最大限に引き出す「チーム学校」をいかにつくり上げるかという不易の重要性に、改めて気づかされた。北海道・札幌市立札幌開成中等教育学校 松澤剛

社会と向き合い、かかわり合うための「発信力」

千葉県立幕張総合高校を始め、これまで誌面で取り上げられてきたどの学校も、「生徒に育みたい資質・能力」を校内で十分検討して具体化し、指導方針を明確に示して、学校全体が大きく動き出している様子が伝わってくる内容であり、非常に参考になった。国際的に活躍できる人材の育成が求められているが、国際的な場では、発言

の機会を自らつくらないと自分の意見を知らせてもらうことはできない。受け身で対処するのではなく、社会や世界に主体的に向き合い、かかわり合っていける人材を育てるためにも、千葉県立幕張総合高校が重視した「発信力」はとても大切だと考えている。 富山県 匿名希望

日々の活動の中で熱く議論できる職場づくりを

岡山県立林野高校が、学校経営計画に教師同士で語り合った言葉を入れていることは、教師の主体性を引き出す上で非常に重要だと感じた。また、育みたい資質・能力を教科指導に落とし込むことにより、教師自身が教科指導の目的を深化させていることに共感した。一方、校内でワークショップを行い、学校が目指す方向を深化させることが昨今重視されている。そのこと自体には賛成であり、私も積極的に推進している。ただ、そういった場がなくても、日々の活動の中で熱く議論できる職場をつくり、発信できる教師を育てたいとも考えている。 岩手県立大船渡東高校 川村俊彦



教育ちょこっとーク

テーマ

今年度、生徒から言われて 一番うれしかった言葉

- 先生が話を聞いてくれるので安心できる。 愛媛県
- 先生の言葉を信じて頑張ります。 山梨県
- 先生の授業は分かりやすい。 長崎県
- 先生の古典の授業を受けて、将来は国語の先生になると決めました。 山口県
- 僕の目標は先生を越えることです。 和歌山県

『VIEW21』高校版 読者モニター を

募集しています！

『VIEW21』高校版編集部では、「現場とともに考える」情報誌をつくるため、『VIEW21』高校版に対するご感想やご意見をお寄せいただける先生からのご応募をお待ちしています。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、
下記のいずれかの方法でご応募ください

①下記2次元コードを読み取ってアクセスいただき、必要事項をご記入の上、ご送信ください。



②学校名、お名前、分掌、ご教職歴をご記入の上、下記のe-mailアドレスにご送信ください。

view21_since-1975@
mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉『VIEW21』高校版・読者モニター募集でご提供いただく個人情報は、アンケートの集計・分析によるVIEW21誌面評価、企画開発、VIEW21誌面・ウェブサイトへの掲載、教育情報の提供ならびに謝礼の発送の目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じる場合があります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口（0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時）にて承ります。
(株)ベネッセコーポレーション CPO（個人情報保護最高責任者）
上記をご承諾くださる方はご送信ください。

編集後記

今号の「大学の学び 最新ナビ」で取り上げさせていただいた、法政大学キャリアデザイン学部の取材では、実際のゼミ活動にも参加させていただきました。その日は、企業の方も交えて、次の活動に向けた企画案を検討されていましたが、それぞれが考えてきたアイデアをぶつけ合い、議論する様子から、学生の皆さんの熱意やチーム力を感じました。大学での学びを通して、社会で求められる実践力を身につけるだけでなく、自らの志を見つけ、突き進んでいく姿に元気をいただきました。彼らが社会に出て、それぞれのフィールドで活躍されていくことを心から応援しています！（北澤）



VIEW21 高校版 2018 4 月号

次号は 4月16日発行 (予定)

『VIEW21』高校版は年6回の発行です